商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ ヨイ）
（※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません。）

電話で 24時間 365日 お応えします

携帯電話からのご利用は ナビダイヤル 0570-06-4114（通話料：有料）
PHSなどからのご利用は 0173-38-3168（通話料：有料）

新商品などの商品選びや、本機に関する取扱方法などのご相談
上記についてのお問い合わせは

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からのご利用は）フリーダイヤル **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は）ナビダイヤル **0570-00-3755**（通話料：有料）
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土※ 10:00 ～ 20:00　日曜日・祝日※ 10:00 ～ 16:00　※当社指定休業日等を除く

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検

★長年ご使用のDVD ビデオプレーヤーの点検を！

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった	● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● 電源コード、プラグが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	お願い：故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

Ⓣ

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝DVDビデオプレーヤー

形名 **SD-XDE1**

取扱説明書

HDMI™

XDE™

- このたびは東芝DVDビデオプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのDVDビデオプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

もくじ

はじめに　お使いになる前に必ずお読みください。

準備と接続

再生

商品の保証とアフターサービス

保証書（別添）

• 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

• 当社は、DVDビデオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
• 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
• 修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
• 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～出張修理

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

「故障かな…？と思ったときは」のページをご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容			
品　名	DVDビデオプレーヤー		
形　名	SD-XDE1	お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お 名 前		電 話 番 号	
お買い上げ店名	お客さまへ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。 ☎（　　）　　―		

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品の代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

機能設定

その他

各部のなまえ

くわしくは、 内ページをご覧ください。

前面

■停止ボタン 37
再生を止めます。

電源ボタン 30
電源の入切をします。

HDMIインジケーター 33
HDMI解像度の設定を表示します。

スキップボタン 41
チャプター、トラックの頭出しをします。

XDEロゴ 65
電源を入れるとXDEロゴが点灯します。

ディスクトレイ 36
ディスクを入れます。

⏏トレイ開／閉ボタン 36
ディスクトレイの開閉をします。

リモコン受光部 28
リモコンをここへ向けて操作します。

表示窓 6
現在の動作状態を表示します。

一時停止ボタン 38 40
再生を一時停止します。
（リモコンの「一時停止/コマ送り」と同じ操作ができます。）

▶再生ボタン 37
再生を開始します。

背面

映像端子 25
コンポジット映像信号を出力します。
テレビの映像入力端子と接続します。

コンポーネント映像出力端子 24
テレビのコンポーネント映像入力端子と接続します。

ビットストリーム/PCM光デジタル音声出力端子 26 27
デコーダー内蔵AVアンプなどのデジタル音声（光）入力端子と接続します。

デジタル音声同軸出力端子 26 27
デコーダー内蔵AVアンプなどのデジタル音声（同軸）入力端子と接続します。

電源コード
AC100Vコンセントに接続します。

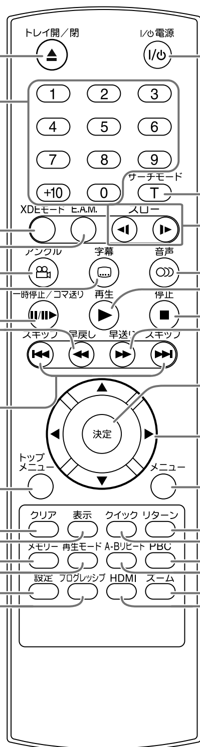
アナログ音声出力端子 24 25 27
テレビやオーディオ機器のアナログ音声入力端子と接続します。

HDMI出力端子 22
テレビのHDMI入力端子と接続します。
デジタル映像信号とデジタル音声信号を出力します。

S映像端子 25
S映像信号を出力します。
テレビのS映像入力端子と接続します。

リモコン

くわしくは、 内ページをご覧ください。



トレイ開／閉ボタン 36
ディスクトレイの開閉

番号ボタン 42 63
数字の入力

XDEモードボタン 34
XDEモードの切換え（HDMI接続時）

E.A.M.ボタン 53
音場効果の設定

アングルボタン 47 51
カメラアングルの切換え

字幕ボタン 47
字幕の表示と選択

一時停止／コマ送りボタン 38 40
再生の一時停止／コマ送り

早戻しボタン 40
再生の早戻し

スキップボタン 41
チャプター、トラックの頭出し

トップメニューボタン 38
DVDビデオディスクのトップメニューの表示

クリアボタン 42
入力値の取り消し

表示ボタン 54
操作状況や情報の表示

メモリーボタン 45
好きな順番での再生

再生モードボタン 44
くり返し／順不同での再生

設定ボタン 32 56
設定項目の一覧表示

プログレッシブボタン 24 25 30
映像出力の切換え

電源ボタン 30
電源の入り切り

サーチモード(T)ボタン 41 42
見たいシーンの指定画面の表示

スローボタン 40
スローモーション再生

音声ボタン 48
音声の選択

再生ボタン 37
再生の開始

停止ボタン 37
再生の停止

早送りボタン 40
再生の早送り

決定ボタン 38
選んだ内容の決定

方向ボタン(▲/▼/◀/▶) 38
項目や入力位置の選択

メニューボタン[1] 38
ディスクメニューなどの表示

リターンボタン[2] 38
指定画面に戻る

クイックボタン 54
基本操作画面の呼び出し

PBCボタン 38
PBCの設定

A-Bリピートボタン 43
指定区間のくり返し再生

ズームボタン 46
再生画像の拡大

HDMIボタン 33
解像度の切換え（HDMI接続時）

1) メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使う」（38ページ）と同様の手順で行ないます。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

2) リターンボタン
市販のソフトディスクによっては「リターン」を押すと、指定された画面に戻ります。ディスク側の説明書もご覧ください。

表示窓

■ 動作時のおもな表示について

ディスクが入っていないとき
NO

本機で再生できないディスクを入れたとき
bAd

ディスクトレイをあけたとき
OPEN

ディスク読み込み中／ディスクトレイをしめたとき
LOAd

チャプター／トラック番号を表示します。
8888
操作状況などを表示します。

サムネイルを表示しているとき
P IC

電源を切ったとき
OFF
数秒間表示してから消えます。

DVDを再生しているとき
2
チャプター番号が表示されます。

ビデオCDを再生しているとき
3
トラック番号が表示されます。

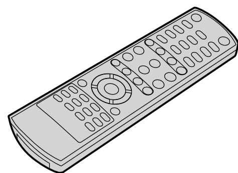
CDを再生しているとき
2
トラック番号が表示されます。

お知らせ
- ディスクによっては表示が異なる場合があります。

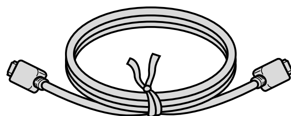
付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

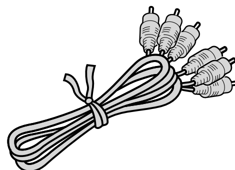
ワイヤレスリモコン×1個
単４形乾電池×２個



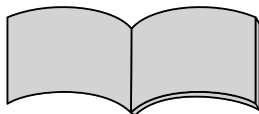
HDMIケーブル×1本



映像・音声接続コード×1本



取扱説明書（本書）×1冊



安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
禁　止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

■ **煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと**

プラグを抜け

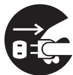
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと**

プラグを抜け

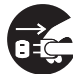
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ **落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと**


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ **電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと**


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ **屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと**

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ **電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること**

指　示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

■ 上にものを置かないこと

上載せ禁止

●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。また、本体内部に変形を起こし、トラブルの原因となることがあります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

禁　止

本機が落ちて、けがの原因となります。

■ コンセントから電源プラグが抜きやすいように設置すること

指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ 時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

指　示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

⚠注意

■ 温度の高い場所に置かないこと

禁　止

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁　止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 風通しの悪い場所に置かないこと

禁　止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
●壁に押しつけないでください。
●あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードをはずすこと

指　示

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

■高い場所に設置しないこと

禁　止

本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

使用するとき

警告

■修理・改造・分解はしないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ディスクトレイなどから異物を入れないこと

異物挿入禁止

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■雷が鳴りだしたら、本機や電源プラグに触れないこと

接触禁止

感電の原因となります。

■電源コードは

禁　止

- **●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱しないこと**
- **●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**
- **●他の電源コードは使用しないこと**
- **●他の機器に使用しないこと**

火災・感電の原因となります。

注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

引っ張り禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ 旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

■ ディスクトレイに手を入れないこと

禁　止

手をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

禁　止

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■ 電源を入れる前には音量を最小にすること

指　示

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎないこと

禁　止

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

■ リモコンに使用している乾電池は、

禁　止

●指定以外の乾電池は使用しないこと
●極性［（+）と（−）］を間違えて挿入しないこと
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
●乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと
●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

これを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

使用上のお願い

取扱いに関すること

■ 非常時を除いて、電源が入っている状態では電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。

■ 移動させるとき
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。

■ たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因となります。

■ 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。

■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

■ 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さに十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

■ 本機をテレビやラジオ、ビデオデッキの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオデッキからできるだけ離してください。

■ 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、ビデオデッキなど熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。

お手入れに関すること

■ お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。

■ 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。

This player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に(2)のように2が含まれているか、または(ALL)が表示されていないと、本機では再生できません。（リージョン番号が不適応の場合には画面に表示がでます。）

音量について

市販のDVDディスクの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。

これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを "結露（露付き）" といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■ "結露" はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■ 結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

レーザー製品の取扱いについて

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

操作説明と実際の動作

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行なうため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に[⃠]が表示されることがあります。[⃠]が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

本機では以下のディスクが再生できます。

ディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの大きさ	内容
DVDビデオディスク	DVD VIDEO ™ / DVD VIDEO ™	12cm/8cm	・映像（動画）+音声
DVD-RWディスク	DVD RW ™	12cm	・映像（動画）+音声 （Videoモード／ VRモード CPRM対応） ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。
DVD-Rディスク	DVD R R4.7 ™	12cm	・映像（動画）＋音声 （Videoモード／ VRモード CPRM対応） ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	12cm/8cm	・映像（動画）+音声
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	12cm/8cm（CDシングル）	・音声
CD-ROM	COMPACT disc	12cm	・音声（MP3 ／ WMAファイル） ・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル）など
CD-R/RWディスク	COMPACT disc ReWritable	12cm	・音声（ファイナライズ済みのCD-DA（音楽用CD）フォーマット） ・音声（MP3 ／ WMAファイル）* ・動画（DivXファイル）* ・静止画（JPEGファイル）* ※ VIDEO CD（ビデオＣＤ）フォーマットのディスクも再生できます。ただし、ディスクによっては再生できないものもあります。

* CD-Rのみ

お知らせ

- 左表以外のディスクは再生できません。
- 左表のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態など、ディスクによっては再生できない場合があります。
- 左表のマークが表示されていても、DVD-RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式（PAL、SECAM）表示のディスクには使用できません。

はDVDフォーマット/ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとはPlayback Control（プレイバック コントロール）の略です。）
ディスクによって、２種類の再生を楽しめます。

PBCなしビデオCD（バージョン1.1）

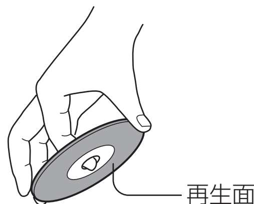
音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。

PBC付きビデオCD（バージョン2.0）

PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。
たとえば、図のように持ってください。



● ディスクに紙やシールを貼らないでください。
● ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。

これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

準備と接続

ご使用になる前の準備です。

- テレビとの接続
- オーディオ機器との接続
- リモコンの準備

テレビとの接続

接続方法と画質について

本機は、高画質にも対応できる各種の出力端子を備えています。
お使いのテレビやモニターの接続端子にあわせて、ケーブルやコード、接続方法をお選びください。

テレビの入力端子		画質について	接続に使うケーブルやコード
HDMI入力端子（図中ラベル：HDMI入力端子）	XDEモードをお楽しみいただくには、HDMI入力対応ハイビジョンテレビとの接続が必要です。（34 ページ）	高画質対応	HDMIケーブル（付属品）
コンポーネント映像入力端子 Y CB CR D映像入力端子（図中ラベル：D映像入力）			コンポーネント映像接続ケーブル（市販品） （テレビの端子にあわせて選択してください）
S映像入力端子（図中ラベル：S映像）			S映像接続コード（市販品）
映像入力端子（黄）（図中ラベル：映 像）		標準画質	映像・音声接続コード（付属品）

	特徴	映像出力設定 31	出力される信号	接続方法
	映像と音声の両方の信号に対応していますので、１本のケーブルだけで接続することができます。HDMI端子付きのテレビやモニター、AVアンプと本機の間をHDMIケーブルを使って接続することで、デジタル映像／音声信号を高品質のまま伝送することができます。	HDMI	1080/24p 1080p 1080i 720p 480p	22
	コンポーネント映像出力端子での接続は、S接続端子での接続より鮮明な映像になります。	プログレッシブ	480p	24
		コンポーネント	480i	
	S映像端子での接続は、映像接続（黄）端子での接続より画質がきれいです。	S映像	480i	25
	一般的な接続方法で、ほとんどのテレビやモニターなどで可能な接続です。	設定の必要はありません	480i	25

p： プログレッシブ
i： インターレース

お知らせ

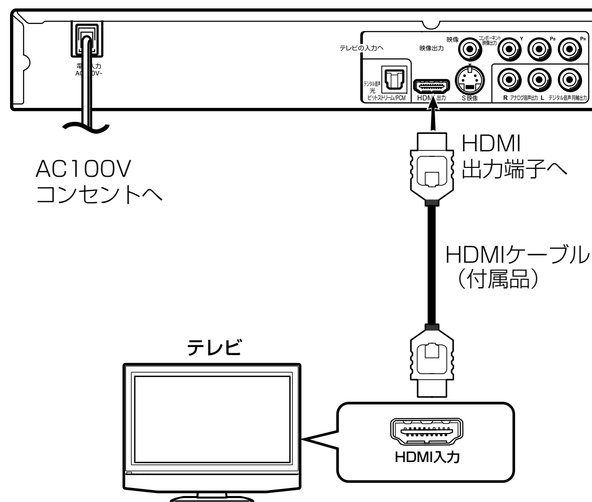
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な映像にならないことがあります。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

HDMI端子付きテレビとの接続

HDMIとは、デジタル家電／AV機器間をデジタル信号でつなぐことができるインターフェイス（接続システム）です。映像と音声の両方の信号に対応していますので、１本のケーブルだけで接続することができます。

HDMI端子付き※のテレビやモニター、AVアンプと本機の間をHDMIケーブルを使って接続することで、デジタル映像／音声信号を高品質のまま伝送することができます。

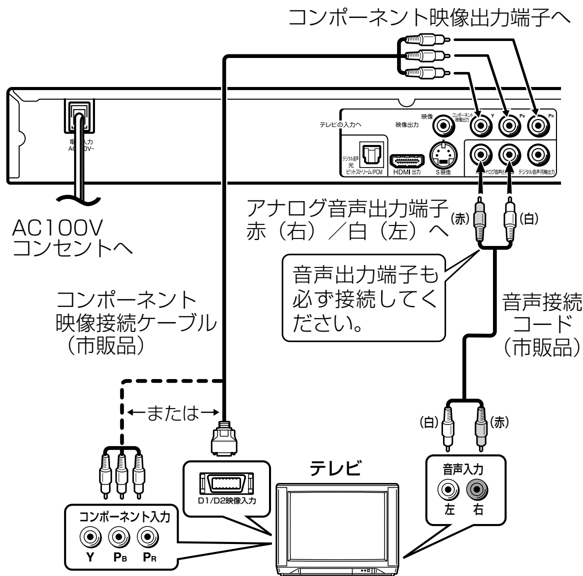
※ HDCP機能に対応していない機器には接続できません。HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)とは、デジタル方式の画像や映像コンテンツの出力信号を暗号化し、不正コピーを防止する著作権保護技術の１つです。



お知らせ

- 本機に接続したテレビやモニターの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- HDMIの信号が確認されない場合は、接続機器の電源を入れ直してみるか、HDMIケーブルを接続しなおしてみてください。
- HDMI出力端子は、DVIアナログには対応していません。
- 本機のHDMI出力端子では、VGAは出力しません。
- HDMIは新しい技術です。今後、HDMIの技術が進歩した場合、本機では対応できなくなることがあります。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（HDMI™）の表示があるケーブルをお使いください。
- 接続するテレビの特性、映像ソースの解像度、本機の映像出力の解像度の組み合わせによっては、高い解像度の出力が最適ではないこともあります。お好みに合わせて出力の解像度を切り換えてご覧ください。解像度の切り換えかたは、33 ページをご覧ください。
- 接続するテレビやプロジェクターによっては、音声が出ない場合があります。そのときは、［デジタル音声出力］を［PCM］に設定してください。（62 ページ）
  それでも音声が出ない場合は、アナログ音声出力端子をお使いください。
  また、Dolby Digital、dts、MPEGデコーダー内蔵のAVアンプにHDMI接続した場合は、［デジタル音声出力］を［ビットストリーム］に設定してください。（62 ページ）

コンポーネント／D端子付きテレビとの接続



※ コンポーネント映像接続ケーブルには、片側がD端子コネクタ仕様のものもあります。お使いのテレビの端子をご確認の上ご用意ください。

■出力信号（インターレース／プログレッシブ）の切り換えかた

本機のコンポーネント映像出力端子からは、インターレースとプログレッシブのどちらかのスキャン方式の映像信号が出力されます。
大部分のハイビジョンテレビはインターレース方式ですが、パソコンモニターなどはプログレッシブ方式です。
接続したテレビのスキャン方式に合わせて信号の種類を選んでください。

テレビのスキャン方式／端子	映像出力切換 31
プログレッシブ／D2、D3、D4	［プログレッシブ］
インターレース／コンポーネント、D1	［インターレース］

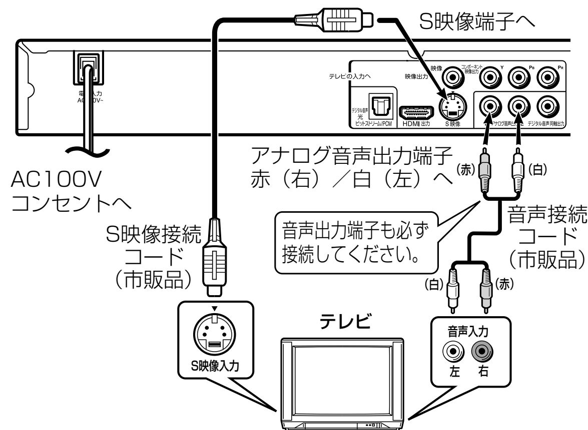
ご注意！

- ［映像出力切換］の設定がテレビに合わないと、画面に映像が出ない場合があります。このときは、リモコンの「**プログレッシブ**」をくり返し押して、映像を表示させてください。

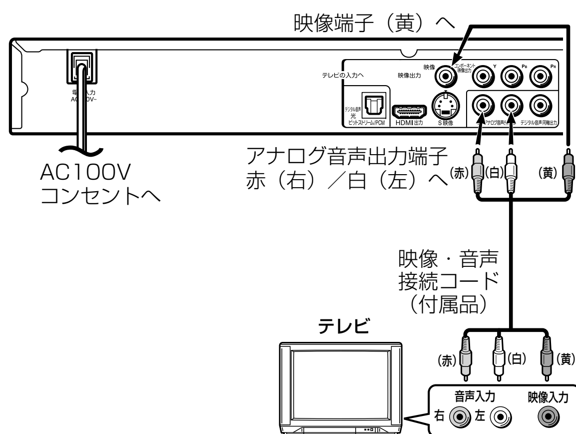
お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 音声の接続に付属品の映像・音声接続コードを使うときは、映像信号用プラグ（黄）は接続する必要はありません。

S映像入力端子付きテレビとの接続



映像入力（黄）端子付きテレビとの接続



ご注意！

- 接続して電源を入れても画面に映像が出ない場合があります。そのときには、テレビに映像が映るまで、リモコンの「**プログレッシブ**」をくり返し押してください。

お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 音声の接続に付属品の映像・音声接続コードを使うときは、映像信号用プラグ（黄）は接続する必要はありません。

お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

オーディオ機器との接続

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。
接続する機器が、デジタル音声入力対応かアナログ音声入力かで、使う端子が異なります。
接続する機器の入力が、デジタルかアナログかを確かめて、接続方法を選んでください。

お願い

- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 本機の電源プラグを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

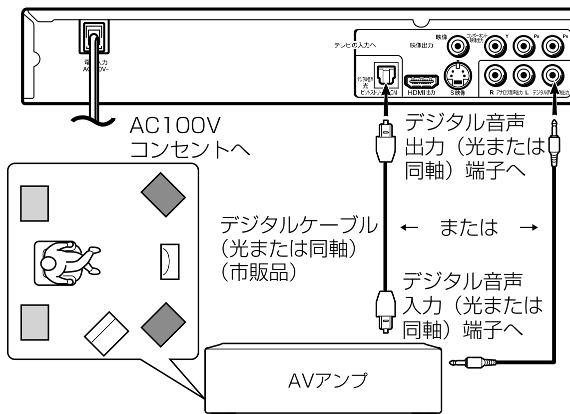
お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Manufactured under license under U.S. Patent #: 5,451,942 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Out are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

AVアンプ（デジタル音声入力端子付き）とつなぐ



以下のアンプに対応しています。

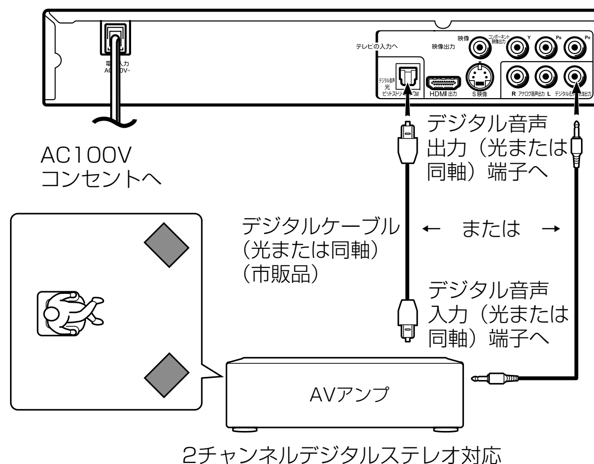
・ドルビーデジタルデコーダー内蔵　・DTSデコーダー内蔵
・MPEG2音声デコーダー内蔵

接続後は、設定をしてください。	設定する項目	選ぶ内容	ページ
	[デジタル音声出力]	[ビットストリーム]	62

⚠注意

- DTS対応のディスク（音楽用CD）を再生すると、音声出力端子から過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機の音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機の「デジタル音声出力（光または同軸）端子」にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

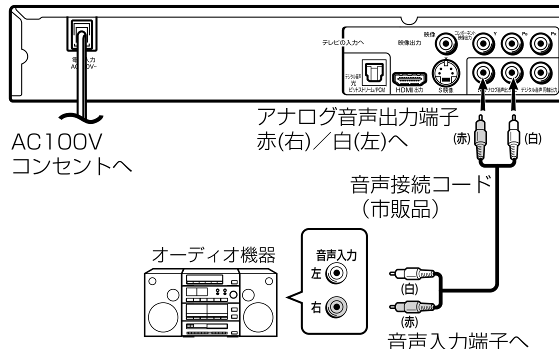
AVアンプ（2chデジタルステレオアンプ）とつなぐ



2チャンネルデジタルステレオ対応

接続後は、設定をしてください。	設定する項目	選ぶ内容	ページ
	［デジタル音声出力］	［PCM］	62

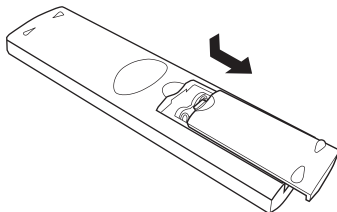
アナログ音声入力端子付きオーディオ機器とつなぐ



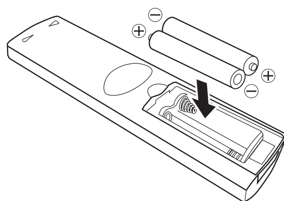
お使いのアンプによっては、［デジタル音声出力］を［オフ］に設定していても、デジタルケーブルを接続しているとアナログ音声が正しく出力されない場合があります。［デジタル音声出力］を［オフ］にしたときは、デジタルケーブルを本機から抜いてください。

リモコンの準備

1 ふたをはずす



2 乾電池を入れる



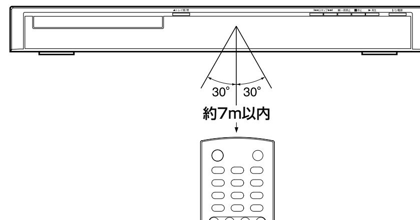
- 単４形乾電池（R03）を２個使用します。
- 乾電池の＋、－を確かめてください。

3 ふたを閉める

操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークや説明が同じであれば使いかたも同じです。

リモコンの操作範囲

本体のリモコン受光部に向けて以下の範囲内で操作してください。



距離：リモコン受光部正面から約７m以内
角度：リモコン受光部から上下左右約３０度以内

リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

お知らせ

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 動作しなかったり、到達距離が短くなったりしたときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を同時に使わないでください。

再生

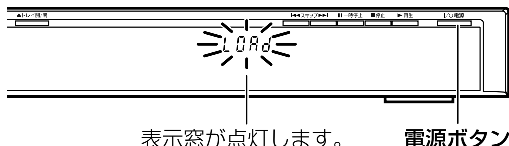
ディスクを再生してみましょう。

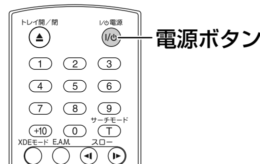
- 電源の入れかた／切りかた
- 映像出力の設定をする
- XDE モードの設定をする
- ディスクを入れる
- ディスクを再生する
- 再生の速さを変える
- 見たいシーンを探す
- 再生順を変える（リピート再生／ランダム再生）
- 好きな順番で再生する（プログラム再生）
- 拡大する（ズーム再生）
- アングル（場面の角度）を切り換える
- 字幕の言語を切り換える
- 音声を切り換える
- 音楽／動画・画像ファイルを再生する
- 広がりのある音にする
- 操作状況や情報を表示させる
- 画面上で操作する

電源の入れかた／切りかた

電源の入れかた

「電源」を押す



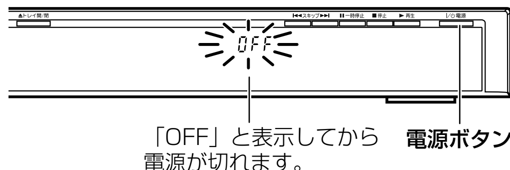


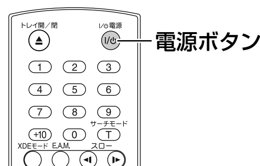
電源が入り、接続したテレビに本機から出力された映像が表示されます。

> **接続して電源を入れても、画面に映像が映らない場合**
>
> ［映像出力切換］の設定が合っていないと画面に映像が出ない場合があります。
> そのときには、テレビに映像が映るまで、「**プログレッシブ**」をくり返し押してください。

電源の切りかた

「電源」を押す





お知らせ

- 「電源」を押して電源を切っても、本体は通電しています（待機状態）。本機の電源を完全に切るには電源プラグを抜く必要があります。

映像出力の設定をする

お使いのテレビやモニターの性能や、接続方法にあわせて映像出力や解像度を設定すると、より適切な映像を楽しむことができます。

※ 映像（黄）端子で接続したときは、この設定は不要です。

■ 各端子の出力信号と映像出力切換

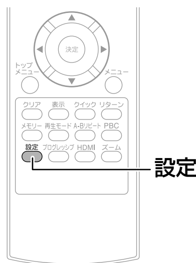
設定項目		出力端子と出力信号			
[映像出力切換]	[HDMI 解像度]	HDMI 出力端子	コンポーネント映像出力端子	S 映像出力端子	映像出力（黄）端子
[コンポーネント]	選べません	×	480i	×	480i
[S 映像]	選べません	×	×	480i	480i
[プログレッシブ]	選べません	×	480p	×	480i
[HDMI]	[480p]	480p	480i	×	480i
	[720p]	720p	480i	×	480i
	[1080i]	1080i	480i	×	480i
	[1080p]	1080p	480i	×	480i
	[1080/24p]	1080/24p	480i	×	480i
	[自動]	480p ～ 1080/24p のいずれか	480i	×	480i

※ お買い上げ時は [HDMI] の [自動] に設定されています。

×：出力しません。

映像出力を設定する

1 「設定」を押す



機能設定画面が表示されます。

2 方向ボタン(▲/▼)で[映像設定]を選び、方向ボタン(▶)を押す

3 方向ボタン(▲/▼)で[映像出力切換]を選び、「決定」を押す

4 下の表を参照して、方向ボタン(▲/▼)で接続に対応した設定を選び、「決定」を押す

接続方法	映像出力設定
HDMI接続 22	[HDMI]を選択→ 続いてHDMI解像度(右ページ)を設定してください。
コンポーネント接続 24	お使いのテレビがプログレッシブ対応の場合[プログレッシブ]を選択 お使いのテレビがインターレース方式の場合[コンポーネント]を選択
S映像接続 25	[S映像]を選択

5 「設定」を押す

設定画面が消え、設定は終わりです。

お知らせ

- 映像出力切換は、停止中に「プログレッシブ」をくり返し押しても切り換えることができます。どちらの手順でも、設定を更新します。
- テレビの方式(インターレース/プログレッシブ)や、接続方法にあっていない映像出力を選択すると、テレビに映像が映らなくなることがあります。その場合は、付属の映像・音声接続コードで映像端子(黄)に接続し、設定をやり直してください。

再生

解像度を設定する

HDMIケーブルで接続し、[映像出力切換] で[HDMI] を選んだ場合にだけ、テレビにあわせて解像度を設定することができます。

1 停止中に、「HDMI」をくり返し押して、お使いのテレビにあった解像度を選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

自動 → 480p → 720p → 1080i → 1080p→ 1080/24p
↑____|

（自動：接続したテレビの最も高い解像度が自動的に選ばれます。）

何も操作をしないと、画面の表示は数秒で消えます。

お知らせ

- 再生する画質を高めるには、HDMI機能を持つテレビにあわせて調節する必要があります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- [自動]に設定すると、接続したテレビと通信して最適な解像度で出力されます。
- 480p、720p、1080i、1080pおよび1080/24pの信号は、このDVDプレーヤーが本来持っている480iより作り出した信号です。解像度を高く設定することで、映像そのものの解像度が上がるわけではありません。
- 解像度は、機能設定画面からも切り換えることができます。どちらの手順でも、設定を更新します。
- XDEモードで [シャープ] [カラー] または [コントラスト] が選択されているときは、[480p]、[720p] を選択することはできません。

ご注意！

- 設定した解像度にテレビが対応していない場合、映像が映らなくなります。そのときは「HDMI」を押して、[自動]またはテレビが対応している解像度に変更してください。

■ [1080/24p] とは

市販のDVD映画ソフトの多くは、映画のフィルムと同じ毎秒24コマで収録されています。通常はこれを毎秒60コマに変換して再生しています。

[1080/24p] は、ディスクに収録されている毎秒24コマの映像を、24コマそのまま、1080p解像度で出力できますので、映画本来の質感を楽しめます。

※ この機能をお楽しみいただくためには、1080/24pの表示に対応したテレビやディスプレイが必要です。

お知らせ

- 再生するディスクによっては、動きがカクカクしたり、垂直解像度が低下したりすることがあります。このような現象が起きたときは、設定を[1080/24p] 以外にしてご覧ください。

XDEモードを設定する

DVD-V VCD CD

XDEモードとは、輪郭や色彩を強調したりコントラストを高めることで、より快適な映像をお楽しみいただくための機能です。
ご覧になる映像や、お好みにあわせて設定してください。

■ XDEモードをお楽しみいただくために

① HDMIケーブルで、テレビと接続する。22
② 映像出力設定を[HDMI]に設定する。31
③ HDMI解像度を[1080i]、[1080p]、[1080/24p]、[自動]のいずれかに設定する。33

- HDMIケーブル以外の接続方法では、XDEモードの効果は表れません。
- HDMI解像度の設定が[480p]、[720p]のときは、XDEモードの設定はできません。

1 「XDEモード」を押す

現在の設定が表示されます。

例

シャープ

2 設定の表示中に、「XDEモード」を押す

押すたびに設定が切り換わります。

シャープ： 輪郭を強調した映像になります。
一般的な映画などにおすすめです。

カラー： 緑系や青系の色彩が鮮やかな映像になります。屋外や大自然の映像などにおすすめです。

コントラスト： コントラストを高めた映像になります。
暗いシーンの多い映画や夜の映像などにおすすめです。

オフ： 通常の映像になります。

再生

お知らせ

- HDMI接続以外の方法でテレビと接続している場合や、HDMI解像度が[480p]や[720p]に設定されている場合、XDEモードを設定することはできません。
- 接続したテレビや再生するディスクによっては、期待された効果を得ることができない場合があります。
- ズーム再生などの特殊再生中は、XDEモードの機能が働かない場合があります。
- [カラー]や[コントラスト]に設定している間も、[シャープ]の効果が続きます。通常の映像に戻したいときは、[オフ]を選んでください。
- XDEモードは、機能設定画面からも切り換えることができます。どちらの手順でも、設定を更新します。
- 接続したテレビにXDEモードのようなエンハンス機能がある場合、相乗効果によりノイズのような映像になる場合があります。その場合は、本機のXDEモードを[オフ]にするか、テレビのエンハンス機能をオフにしてください。
- もともとの映像にノイズが多い場合、XDEモードの機能を働かせると見づらい映像になる場合があります。そのような場合は、XDEモードを[オフ]にしてください。

ディスクを入れる

再生できるディスクは、16 ページでご確認ください。

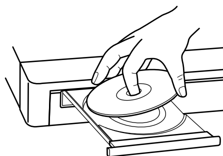
1 「トレイ開／閉」を押す

ディスクトレイが開きます。

2 ディスクをディスクトレイに置く

ラベル面を上にして、溝に合わせて置きます。

両面ディスクの場合、再生する面の表示を上にして、溝に合わせて置きます。



3 「トレイ開／閉」を押す

ディスクトレイが閉まります。

お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、ボタン操作で行なってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。

■ ディスクを取り出すときは

「**トレイ開**／**閉**」を押して、ディスクトレイが最後まで完全に開いたらディスクを取り出します。

■ ディスクトレイをロックする

ディスク再生中の誤操作やお子さまのいたずらなど、意図しない操作でディスクトレイが開かないようにロックすることができます。

1 「**設定**」を押す

2 **番号ボタン**を「6」→「1」→「0」→「0」の順に押す

ディスクトレイがロックされます。

3 「**設定**」を押す

元の画面に戻ります。

- ロックを解除するときには、もう一度上記と同じ手順を行なってください。

ディスクを再生する

DVD-V VCD CD

■ 準備

- テレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 本機の電源を入れます。

1 ディスクを入れ、トレイを閉じる（36 ページ）

ディスクの再生が始まります。

再生が始まらないときは「**再生**」を押します。

- トップメニューが記録されたDVDビデオディスクを再生すると、メニュー画面が表示されます。詳しくは、次ページの「トップメニューを使う」をご覧ください。
- ディスクメニュー画面は、トップメニューボタンや、メニューボタンを押して表示させる場合があります。（DVDビデオディスクによって異なります。）
- 音楽用CDのときは、メニューが表示されます。操作方法は、「音楽／動画・画像ファイルを再生する」をご覧ください。

2 再生を止めるには、「**停止**」を押す

続き再生機能（レジューム再生）について

再生を停止した位置を本機が記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「再生」を押すと、停止した位置から再生がはじまります。

- 続き再生をしないで、始めから再生したいときは、「停止」を2回押すと、続き再生が解除されます。
- 以下の場合も、続き再生は解除されます。
  −電源を切ったとき
  −ディスクトレイをあけたとき

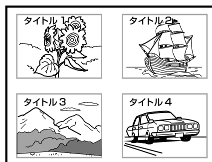
お知らせ

- ディスクによって、レジューム再生の始まる位置が変わることがあります。

トップメニューを使う

DVD-V VCD CD

例：



1 「**トップメニュー**」を押す

ディスクのトップメニューが画面に表示されます。

ディスクによっては「メニュー」を押すと表示されるものもあります。

2 **方向ボタン**（▲/▼/◀/▶）を押して、再生したいタイトルを選ぶ

タイトルに番号がついている場合、番号ボタンでも選べるディスクもあります。

3 「**決定**」を押す

選んだタイトルのチャプター 1から再生が始まります。

お知らせ

- ディスクを入れると自動的にトップメニューが表示されるものもあります。
- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューは表示されません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。

再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に、「**一時停止／コマ送り**」を押す

画像が静止し、音声が消えます。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

■ ビデオCDのPBC設定について

「**PBC**」を押すと、［PBC オン］と［PBC オフ］の切り換えができます。

お知らせ

- プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDを、［PBCオン］で再生すると、メニュー画面が表示される場合があります。このメニューから見たい内容を選ぶことができます。再生中などにメニューを再度表示したいときは、「リターン」を押してください。
- ［PBCオフ］から［PBCオン］に切り換えると、再生はディスクの最初から始まります。

■ スクリーンセーバー（焼付き防止機能）について

画面を焼付きから保護するための機能です（焼付き防止を保証するものではありません）。

ディスクが入っていない状態や停止状態が約２分間続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

スクリーンセーバーが起動してから約20分間経過すると、電源が切れます。

再度お使いになるときは、もう一度電源を入れ直してください。

再生

再生の速さを変える

早戻し／早送りする

DVD-V VCD CD

再生中に、「**早戻し**」「**早送り**」を押す

◀◀：早戻しの再生

▶▶：早送りの再生

押すたびに、速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

お知らせ
- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕(副映像)は再生されません。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。
- VRモードで記録されたディスクは、記録状態などによって、早戻し／早送りができない場合があります。

コマ送りで再生する

DVD-V VCD CD

一時停止中に、「**一時停止／コマ送り**」を押す

1回押すごとに、1コマずつ進みます。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

お知らせ
- コマ送り再生中は、音声は再生されません。

スローモーションで再生する

DVD-V VCD CD

再生中に、「**スロー**」を押す

◀❙：戻し方向のスローモーション再生

❙▶：進む方向のスローモーション再生

押すたびに、速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

お知らせ
- スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

見たいシーンを探す

DVD-V VCD CD

前後のチャプター／トラックへスキップする

1 「スキップ」をくり返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

▶▶I：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。連続して2度押しすると、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

お知らせ

- ビデオCDではスキップができない場合があります。その場合は [PBCオフ] にしてみてください。ディスクによってはスキップできる場合もあります。

番号を指定してシーンを探す

1 「サーチモード（T）」をくり返し押して、画面に[サーチモード] を表示させる

例：DVD-V

サーチモード	
タイトル	---
チャプター	---
タイム	--:--:--

例：VCD CD

サーチモード	
トラック	---
タイム	---
ディスクタイム	---

2 方向ボタン（▲/▼）を押して、シーンを探す方法を選ぶ

DVD-V のとき

- **[タイトル]、[チャプター]:**
  タイトル、チャプターで探したいとき。
- **[タイム]:**
  見たいシーンをタイトル内の経過時間を指定して探したいとき。

VCD CD のとき

- **[トラック]:**
  トラックで探したいとき。
- **[タイム]:**
  トラック内の経過時間を指定して探したいとき。
- **[ディスクタイム]:**
  ディスク内の経過時間を指定して探したいとき。

お知らせ

- ビデオCDを [PBCオン] で再生しているときは、[タイム] だけが表示されます。

3 番号ボタンを押して、番号を入力する

- タイトル／チャプターの例：「25」を入力する
  「+10」→「+10」→「5」
- 時間入力の場合：「時」「分」「秒」の順に入力してください。
  例：1時間25分30秒の経過時間を入力する
  「0」→「1」→「2」→「5」→「3」→「0」

4 「決定」を押す

指定した箇所から再生が始まります。

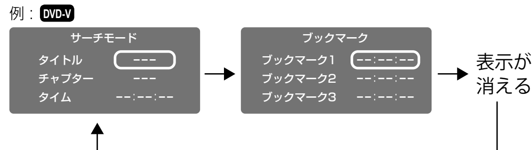
お知らせ
- ディスクの種類や記録されている状態によって、表示される画面が異なります。
- 番号を設定前に戻す場合は、「クリア」を押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
- ディスクやシーンによっては、経過時間を使ってシーンを探すことができないことがあります。

目印をつけて好きなシーンを再生する（ブックマーク機能）

次ページの「目印（ブックマーク）をつける」を行なって、あらかじめブックマークを登録してから操作してください。

1 再生中に、「サーチモード（T）」を数回押して、画面に[ブックマーク]を表示させる

押すたびに、表示が以下のように変わります。



2 方向ボタン（▲/▼）を押して、[ブックマーク]の番号（1、2、3）を選び、「決定」を押す

選んだ箇所から再生が始まります。

■ 目印（ブックマーク）をつける

３箇所まで登録できます。

1 目印をつけたい箇所で、「**一時停止／コマ送り**」を押して、再生を一時停止させる

2 「**サーチモード（T）**」を数回押して、画面に［ブックマーク］を表示させる

3 **方向ボタン**（▲／▼）を押して、［ブックマーク］の番号（1、2、3）を選ぶ

空いている番号（［−−：−−：−−］）を選びます。

取り消すときは、「サーチモード（T）」を押して表示を消します。

すでに登録済みの番号は、「クリア」を押すと、設定内容が消えて［−−：−−：−−］の表示に変わります。

4 「**決定**」を押す

一時停止した箇所が、ブックマークとして登録されます。（ブックマークは、電源を切ったり、ディスクトレイをあけると消えます。）

お知らせ

- ディスクや場面によっては、ブックマークに登録できないことがあります。

再生順を変える（リピート再生／ランダム再生）

DVD-V VCD CD

範囲を指定してくり返し再生する（A-Bリピート再生）

1 くり返し再生したい範囲の始点（A）で、「A-Bリピート」を押す

画面に［リピートA-］の表示が出ます。

2 くり返し再生したい範囲の終点（B）で、「A-Bリピート」を押す

画面に［リピートA-B］の表示が出ます。
自動的にA点に戻り、指定した範囲（AB間）のくり返し再生が始まります。

普通の再生に戻すには、「A-Bリピート」を押します。
［リピートオフ］の表示が出ます。

お知らせ

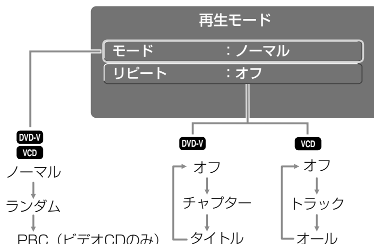
- 再生中のタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点（A）の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、「停止」と「A-Bリピート」以外の操作はできない場合があります。

くり返し再生／ランダム再生する

CDの場合は「音楽／動画・画像ファイルを再生する」(49 ページ)をご覧ください。

1 再生中に、「再生モード」を押す

2 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」をくり返し押してお好みの再生モードに切り換える



ノーマル: 通常の再生に戻ります。
ランダム: チャプター(トラック)を順不同に再生します。
PBC: PBCオンで再生します。(ビデオCDのみ)
チャプター: 同じチャプターをくり返し再生します。
タイトル: 同じタイトルをくり返し再生します。
トラック: 同じトラックをくり返し再生します。
オール: ディスク全体をくり返し再生します。
オフ: 通常の再生に戻ります。

3 「再生」を押す

現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、設定した再生モードでの再生が始まります。

■ リピート再生、ランダム再生を中止するには

「停止」を2回押して再生を完全に停止させるか、設定した項目を[ノーマル]または[オフ]に戻してください。

お知らせ

- ディスクによっては、リピート再生やランダム再生できないものがあります。
- 電源を切ったり、ディスクトレイをあけると、再生モードの設定は解除されます。
- ビデオCDはリピート再生できない場合があります。その場合は、PBCの設定を[PBC オフ]にしてみてください。ディスクによってはリピート再生できる場合もあります。

好きな順番で再生する(プログラム再生)

DVD-V　VCD　CD

1 停止中に、「メモリー」を押す

設定画面が表示されます。

例：DVD-V

2 再生したい順番にタイトルとチャプター／トラックを設定する

1) **方向ボタン**(▲/▼)でタイトル[－－－]を選び、番号ボタンでタイトル番号を入力する

2) **方向ボタン**(▶)でチャプター [－－－]を選び、番号ボタンでチャプター番号を入力する
チャプター番号を入力せずにカーソルを移動させると、1)で入力したタイトル番号は[－－－]に戻ります。

3) 1)～2)をくり返して、再生したい順番を設定する

- ディスクに存在しないタイトル番号やチャプター／トラック番号を入力しても、[－－－]に戻り、入力は受けつけられません。

3 方向ボタン(▶)を押して、[▶再生]を選び、「決定」を押す

設定した順にプログラム再生が始まります。

■ 設定内容を取り消すには

- 方向ボタンで取り消したいタイトル番号、またはチャプター／トラック番号を選び「クリア」を押すと、[－－－]に戻り、取り消されます。
- 画面上で[オールクリア]を選び、「**決定**」を押すと、設定したすべてのプログラム内容が取り消されます。

■ プログラム再生を中止するには

「**停止**」を2回押す

(設定したプログラム内容は消去されます。)

お知らせ

- ディスクによっては、プログラム再生できないものがあります。
- 以下の場合は、プログラム再生は解除されます。
  －ディスクメニューを表示させたとき
  －電源を切ったとき
  －ディスクトレイをあけたとき
- 再生中に「メモリー」を押したときは、再生が停止します。再生を再開する場合、通常再生はその続きから、プログラム再生はプログラムの最初からの再生になります。

拡大する（ズーム再生）

DVD-V　VCD　CD

1 再生中に、「**ズーム**」を押す

ズームアイコンが表示されます。

スロー再生中、一時停止中、早送り中、早戻し中でも操作できます。

例

🔍 2

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

• **倍率：「ズーム」をくり返し押す**

押すたびに以下のように切り換わります。

[🔍 1] → [🔍 2] → [🔍 3] → [🔍 オフ]

• **位置：方向ボタン（▲/▼/◀/▶）を押す**

■ 普通の再生に戻すには

画面に [🔍 オフ] が表示されるまで、「**ズーム**」をくり返し押す

お知らせ

• ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
• 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
• 字幕やメニューの選択表示（マーク）などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
• 以下の場合は、ズーム再生は解除されます。
 –電源を切ったとき
 –ディスクトレイをあけたとき

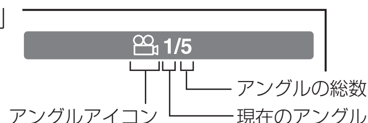
アングル（場面の角度）を切り換える

DVD-V VCD CD

1 マルチアングルで記録されている場面の再生中に、「**アングル**」を押す

画面にアングルアイコン [ ] が表示されます。

例



タイトルごとに表示されます。マルチアングル記録部分が含まれていないディスクでは表示しません。

マルチアングルで記録されていないディスクや場面ではアングルの切換えはできません。

2 「**アングル**」を押して、アングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
- マルチアングルのディスクによっては、特殊再生（例えば、早送り、早戻し、スローなど）が禁止される場合もあります。

字幕の言語を切り換える

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**字幕**」を押す

字幕設定が表示されます。

例

2 字幕設定の表示中に、「**字幕**」を押す

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に、画面に[オフ] が表示されるまで、「**字幕**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

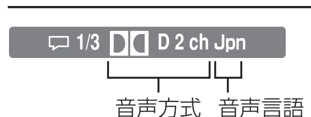
音声を切り換える

DVD-V　VCD　CD

1 再生中に、「**音声**」を押す

音声設定が表示されます。

例



2 音声設定の表示中に、「**音声**」を押す

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

- 複数の音声が記録されていないディスクもあります。そのときは、音声の切換えはできません。

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、「**音声**」を押して、音声チャンネルを選ぶ

音楽／動画・画像ファイルを再生する

DVD-V VCD CD

音楽用CD、音声ファイル(MP3／WMA)、動画ファイル(DivX® ／ MPEG-4)、画像ファイル(JPEG)の再生ができます。

■ MP3/WMAまたはDivX®/MPEG-4ファイルの再生対応条件

対応メディア	CD-ROM、CD-R、DVD-R
サンプリング周波数	44.1 kHz
ビットレート	WMA：48 kbps ～ 192kbps（CBR） MP3：32 kbps ～ 320kbps（CBR）
フレームレート	DivX/MPEG-4：8 fps ～ 25 fps
フォーマット	Mode 1、Mode 2 XA Form1
ファイルシステム	ISO9660 Level 1、Level 2またはJoliet
ファイル名（MP3）	英数字のみで構成され、拡張子「MP3」が付け加えられていること。“?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。（例「○○○○○○○○.MP3」）
ファイル名（WMA）	英数字のみで構成され、拡張子「WMA」が付け加えられていること。“?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。（例「○○○○○○○○.WMA」）
ファイル名（DivX）	英数字のみで構成され、拡張子「avi」または「divx」が付け加えられていること。“?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。（例「○○○○○○○○.avi」、「○○○○○○○○.divx」）
ファイル名（MPEG-4）	英数字のみで構成され、拡張子「MPG」が付け加えられていること。“?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。（例「○○○○○○○○.MPG」）
WMAコーデック方式版	V7、V8（ステレオサウンドのみ）
DivXコーデック方式版	3.11、4.12、5.0、5.1　通常再生にのみ対応しています。
DivX解像度	720×576（同等もしくはそれ以下）

■ JPEGファイルの再生対応条件

対応メディア	CD-ROM、CD-R
ファイルシステム	ISO9660 Level 1、Level 2またはJoliet
ファイル名	英数字のみで構成され、拡張子「JPG」が付け加えられていること。“?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。（例「○○○○○○○○.JPG」）
ファイルサイズ	10Mバイト以下
フォーマット	BASELINE、PROGRESSIVE
解像度	Baseline JPEG：最大5760×4320 Progressive JPEG：最大5760×4320

Windows Media™、及びWindows® ロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

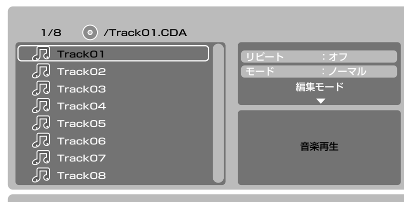
DivX、DivX Certified、およびそれらの関連ロゴはDivXNetworks, Inc.の登録商標であり、ライセンス契約に基づく使用許可を受けています。

お知らせ
- 対応または動作確認済みのディスクでも、状態などによっては動作しない場合があります。
- ファイルサイズによっては、画像の一部が表示されないことがあります。
- 表示可能な文字数は、ファイル名、フォルダ名ともに15文字までです。
- フォルダの総数256、ファイルの総数1000以上のディスクは再生できません。

1 再生したいディスクを入れる

メニューが表示されます。

例



音楽用CDの場合は、自動的に再生が始まります。

2 再生したいトラック／ファイルを**方向ボタン**（▲／▼）で選び、「**決定**」または「**再生**」を押す

再生が始まります。

JPEGファイルの場合は、1画像ずつ順に再生（スライドショー）します。

3 再生を止めるには「**停止**」を押す

お知らせ

- ディスクやファイル、およびディスクの記録状態によって再生できないものがあります。

■ 再生するファイルの種類を選択する

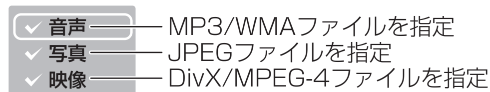
例えば、1枚のディスクの中に数種類のファイルが記録されているとき、以下の手順で再生するファイルの種類を指定できます。

1 **方向ボタン（▶）で［フィルター］を選び、「決定」を押す**

以下の画面が表示されます。

選ばれているファイルの種類の左側にチェックマーク［✓］が表示されています。

例



2 **ファイルの種類を方向ボタン（▲／▼）で選び、「決定」を押して、チェックマーク［✓］のつけはずしをする**

3 **選び終わったら方向ボタン（◀）を押して、前の画面に戻る**

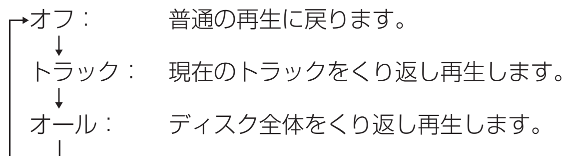
お知らせ

- 市販の音楽用CDのときは、フィルターの設定はできません。

■ リピート再生をする

再生中に、**方向ボタン**で［リピート］を選び、「**決定**」を押す

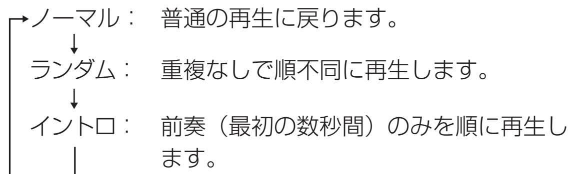
「**決定**」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。



■ ランダム／イントロ再生をする

再生中に**方向ボタン**で［モード］を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、モードが切り換わります。



お知らせ
- ディスクによっては再生できないものがあります。
- スキップなど、一部リモコンで操作できる機能もあります。

音声ファイルの再生についてのお知らせ
- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。
- デジタル音声出力端子からのMP3ファイルの音声は、［デジタル音声出力］（「機能設定」章を参照）の設定に関係なく、リニアPCM音声で出力されます。

■ 画像を回転させる（JPEGファイル）

「**アングル**」を押すたびに、画像が時計回りに90°ずつ回転します。

お知らせ
- 方向ボタンを押してから画像が回転するまで、多少時間がかかります。

■ 画像をサムネイル（縮小画像）で表示する

メニュー画面表示中に「**トップメニュー**」を押すと、サムネイル表示（縮小画像の一覧表示）になります。

画像ファイルの数が多く、一度に表示できない場合は、「**スキップ**」で他のサムネイルを表示させることができます。

「**停止**」を押すと、元のメニュー画面に戻ります。

また、サムネイルの表示中に**方向ボタン（▲/▼/◀/▶）**でサムネイルを選んで「**再生**」を押すと、選んだ画像が大きく表示され、そこから順にスライドショーが始まります。

■好きな順番で再生する(プログラム再生)

再生したいトラックを並びかえて、好きな順番で再生できます。

1 **方向ボタン**で［編集モード］を選び、「**決定**」を押す([モード]の下に[編集モード]があります。方向ボタン(▼)でカーソルを移動させてください。)

2 **方向ボタン**(◀)でトラックが表示されている画面へカーソルを移動させる

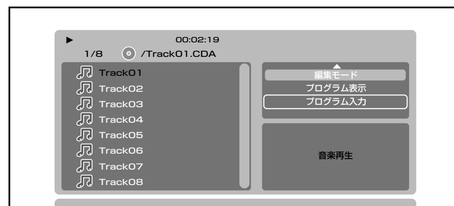
3 **方向ボタン**(▲/▼)でプログラム再生したいトラックを選び、「**決定**」を押す

例

選んだトラックにチェックマーク［✓］が入ります。

4 **方向ボタン**で［プログラム入力］を選び、「**決定**」を押す([編集モード]から方向ボタン(▼)でカーソルを移動させていくと、[プログラム入力]があります。)

例



選んだトラックが本体に記憶され、チェックマーク［✓］が消えます。

5 **方向ボタン**で［プログラム表示］を選び、「**決定**」を押す

プログラムされた内容が表示されます。

6 「**再生**」を押す

プログラムした順に再生が始まります。

■ トラック／ファイルを表示する

画面の［ファイル表示］を選び、「**決定**」を押すと、ディスクに記録されているトラック／ファイルが表示されます。

■ プログラムした内容を取り消すには

1 「**停止**」を２回押して、再生を停止させる

［編集モード］になっていない場合は、方向ボタンで［編集モード］を選び、「決定」を押してください。

2 **方向ボタン**（◀）でトラックが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 取り消したいトラックを選び、「**決定**」を押す

選んだファイルにチェックマーク［ ✓ ］が入ります。

4 **方向ボタン**で［プログラムクリア］を選び、「**決定**」を押す

プログラムした内容が解除されます。

お知らせ

- ディスクによっては機能しないものがあります。
- 以下の場合は、プログラム再生は解除されます。
  －電源を切ったとき
  －ディスクトレイをあけたとき

広がりのある音にする

DVD-V　VCD　CD

1 「E.A.M.」を押す

現在の設定が表示されます。

2 「E.A.M.」をくり返し押す

- **［3D効果オフ］**
  通常の音声です。
- **［3D効果オン］**
  広がりと奥行き感のある音場効果が得られます。

お知らせ

- 実際の音場効果は、音響設備やディスクによって異なります。
- 3D効果は、アナログ音声接続時、［デジタル音声出力］が［PCM］に設定されている場合に効果が得られます。（62 ページ）

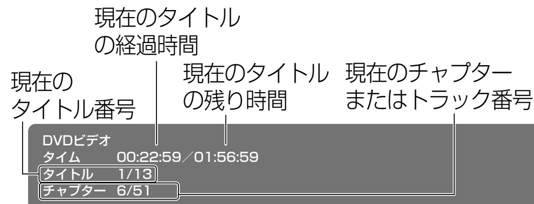
操作状況や情報を表示させる

DVD-V VCD CD

1 「表示」を押す

現在の操作状況や情報が表示されます。

例：DVDビデオディスク



もう一度「**表示**」を押すと表示内容が変わります。

さらにもう一度「**表示**」を押すと、画面表示が消えます。

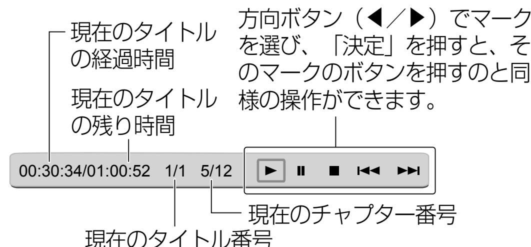
画面上で操作する

DVD-V VCD CD

1 「クイック」を押す

以下の画面が表示されます。

例：DVDビデオディスク



- ▶：再生します。
- ⏸：一時停止します。
- ■：停止します。
- ⏮：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
  連続して選ぶと一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。
- ⏭：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

画面表示を消すにはもう一度「**クイック**」を押します。

再生

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

● 初期設定の変更と機能の設定

初期設定の変更と機能の設定

DVD-V VCD CD

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1 **停止中に、「設定」を押す**

機能設定画面が表示されます。

2 **設定項目（下表）のアイコンを、方向ボタン（▲/▼）で選び、方向ボタン（▶）を押す**

3 **設定項目を、方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押す**

4 **58ページ以降の説明を参照して、項目の内容を、方向ボタン（▲/▼）などで設定し、「決定」を押す**

他の項目を設定するときは、方向ボタン（◀）を押してから、手順２～４をくり返します。

5 **「設定」を押す**

設定画面が消え、設定は終わりです。

アイコン	設定項目	対応ディスク	設定内容
言語設定	画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。
	字幕言語	DVD-V	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。
	DivX字幕	DVD-V CD	DivX® ビデオディスクの再生で、どの言語を優先して表示するかを設定します。
	音声言語	DVD-V	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。
	DVDメニュー言語	DVD-V	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。

映像設定	テレビ画面形状	DVD-V VCD CD	出力信号の画面形状を、テレビの形状に合わせて設定します。
	映像モード	DVD-V VCD CD	表示される映像のサイズをお好みで設定します。
	映像出力切換	DVD-V VCD CD	接続に合わせて出力方式を設定します。
	HDMI解像度	DVD-V VCD CD	接続するテレビに対応した解像度を設定します。
	スライドショー	DVD-V VCD CD	JPEGファイルの連続再生間隔を設定します。
	XDEモード	DVD-V VCD CD	XDEモードを設定します。
音声設定	デジタル音声出力	DVD-V VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。
	ナイトモード	DVD-V VCD CD	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。
視聴制限	パレンタルロック	DVD-V VCD CD	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。
	パスワード設定	DVD-V VCD CD	パレンタルロックで使用するパスワードを変更します。
その他	初期設定に戻す	—	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	DivX登録	—	DivX® に関する情報を表示します。
	スクリーンセーバー	—	スクリーンセーバーの入／切を設定します。
	HDMI連動設定	—	HDMI接続された機器のリモコンや操作にあわせて動作するかどうかを設定します。
	XDEロゴ	—	本体前面の「XDE」ロゴの点灯／消灯を設定します。

■ 言語設定

画面表示言語 DVD-V VCD CD

English：

英語で画面表示します。

日本語：

日本語で画面表示します。

字幕言語 DVD-V VCD CD

英語：

英語で字幕を表示します。

日本語：

日本語で字幕を表示します。

自動：

ディスクで決められた言語を優先して字幕を表示します。

オフ：

字幕を表示しません。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

DivX字幕 DVD-V VCD CD

ASCII：

アルバニア語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ゲール語、ドイツ語、イタリア語、クルド語（ラテン）、ノルウェー語、ポルトガル語、スペイン語、スウェーデン語、トルコ語で表示します。

Unicode：

多国語処理が可能な標準文字コードです。主要言語のほとんどの文字を含みます。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。

音声言語 DVD-V VCD CD

英語：

英語で音声を再生します。

日本語：

日本語で音声を再生します。

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVDメニュー言語 DVD-V VCD CD

英語：

英語でディスクメニューを表示します。

日本語：

日本語でディスクメニューを表示します。

お知らせ

- ディスクによっては、英語または日本語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

■ 映像設定

テレビ画面形状 DVD-V VCD CD

4:3：

従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。

16:9：

16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、設定した画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で[16:9]を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びるなど、正常な画像が表示されません。お使いのテレビに合わせて設定してください。

映像モード　DVD-V VCD CD

フルサイズ：

フル画像にサイズを合わせた映像を表示します。

オリジナル：

ディスクに記録されているオリジナルサイズの映像を表示します。

自動：

歪みのないよう自動的にサイズを合わせて表示します。上下または左右に黒い帯がでます。

パンスキャン：

歪みのないよう自動的にフル画像サイズに合わせた映像を表示します。映像の片側または両側がカットされます。

お知らせ

- この設定の内容は、ディスクの記録の状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

映像出力切換　DVD-V VCD CD

コンポーネント：

インターレース方式のテレビのコンポーネント入力端子、またはＤ入力端子に接続したときに選びます。

Ｓ映像：

テレビのＳ映像入力端子に接続したときに選びます。

プログレッシブ：

プログレッシブ方式対応のテレビのコンポーネント入力端子、またはＤ入力端子に接続したときに選びます。

HDMI：

テレビのHDMI入力端子に接続したときに選びます。

詳しくは、31 ページをご覧ください。

HDMI解像度 DVD-V VCD CD

HDMIケーブルで接続し、[映像出力切換]で[HDMI]を選んだ場合にだけ、本機からの出力解像度を設定してください。

自動：

接続したテレビの最も高い解像度が自動的に選ばれます。

- テレビによっては、自動的に切り換わらないことがあります。その場合はテレビの解像度にあわせて選んでください。

480p：720p：1080i：1080p：1080/24p

詳しくは、33 ページをご覧ください。

スライドショー DVD-V VCD CD

オフ：

選択したJPEGファイルのみ再生します。

5秒：

約5秒間隔で1画像ずつ順に再生(スライドショー)します。

10秒：

約10秒間隔で1画像ずつ順に再生(スライドショー)します。

15秒：

約15秒間隔で1画像ずつ順に再生(スライドショー)します。

XDEモード DVD-V VCD CD

シャープ：

輪郭を強調した映像になります。

カラー：

緑系や青系の色彩が鮮やかな映像になります。

コントラスト：

コントラストを高めた映像になります。

オフ：

通常の映像になります。

詳しくは、34 ページをご覧ください。

■ 音声設定

デジタル音声出力 DVD-V VCD CD

オフ：

デジタル音声が出力されません。

PCM：

2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているときに選びます。

ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

HDMI接続時も同様です。

ビットストリーム：

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているときに選びます。

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

HDMI接続時も同様です。

ナイトモード DVD-V VCD CD

オフ：

ダイナミックレンジコントロール機能が働きません。

オン：

ダイナミックレンジコントロール機能が働きます。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

■ 視聴制限

パレンタルロック DVD-V VCD CD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■ パレンタルロックの規制レベルを設定する

1 **方向ボタン**で[パレンタルロック]を選び、「**決定**」を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

2 **番号ボタン**で4桁の暗証番号（はじめてお使いになるときは「8888」）を入力し、「**決定**」を押す

ロックが解除されます。

3 [パレンタルロック]を選んだまま「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**（▲/▼）でパレンタルロックの規制レベルを選び、「**決定**」を押す

パレンタルロックの規制レベルが設定されます。

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックの設定レベルを再生できるレベルに変更しないかぎり、再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。
アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

8：成人向け	7：NC-17	6：R（R指定）
5：PG-R	4：PG-13	3：PG
2：G（一般向け）	1：子供向け	

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■ パレンタルロックの規制レベルを変えるには

「パレンタルロックの規制レベルを設定する」の手順を行ない、規制レベルを変更してください。

パスワード設定 DVD-V VCD CD

パレンタルロックの設定に使用する暗証番号を、変更することができます。

1 [パスワード設定] を選び、「**決定**」を押す

2 **番号ボタン**で４桁の暗証番号（はじめてお使いになるときは「8888」）を入力し、「**決定**」を２回押す

暗証番号が解除され、新しい暗証番号の入力画面が表示されます。

3 **番号ボタン**で新しい４桁の暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

4 もう一度手順３で入力した暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

新しい暗証番号が設定されます。

お知らせ

• 設定した暗証番号を忘れてしまった場合、手順２で「8888」を入力すると、暗証番号を解除することができます。

■ その他

初期設定に戻す

いいえ：
現在の設定のままで選択を終了します。

はい：
設定をお買い上げ時の状態に戻します。

DivX登録

DivXに関するお知らせが表示されます。

表示中に「決定」を押すと、前の画面に戻ります。

スクリーンセーバー

オン：
スクリーンセーバーが働きます。

オフ：
スクリーンセーバーは働きません。

HDMI連動設定

HDMI連動とは、本機とテレビをHDMIケーブルで接続することで、テレビとの連動操作が可能になる機能です。テレビによっては対応していなかったり、一部の機能が働かない場合があります。詳しい操作については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

オン：
HDMI接続された機器のリモコンや操作に連動して動作します。

オフ：
連動しません。

■ 連動動作例

- ディスクトレイにディスクが入っているときに「再生」を押すと、テレビの入力切換が自動的に切り換わる。
- テレビの電源を「切」にすると、本機の電源も「切」状態になる。
- テレビのリモコンに、HDMI連動用ボタンの「再生」、「停止」、「早送り」、「早戻し」、「一時停止」などがある場合、テレビのリモコンを操作することにより、本機を操作することができます。

お知らせ
- 本機が待機状態のときは、HDMI連動では動作しません。

HDMI連動機能とは、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) を使用したHDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動動作が行なえますが、当社対応品以外については動作を保証するものではありません。

XDEロゴ

オン：
本体前面のXDEロゴが点灯します。

オフ：
本体前面のXDEロゴが点灯しません。

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

- 故障かな…？と思ったときは
- 仕様

故障かな…？と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源がはいらない。	• 電源プラグが抜けている。	• 電源プラグをしっかりと差し込む。
テレビの画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れ直す。
映像が出ない。 急に映像が出なくなった。 色がおかしい。	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの映像が映るように切り換える。
	• ケーブルがしっかりと接続されていない。	• ケーブルをしっかりと正しい端子に接続する。
	• 接続方法と異なる出力設定が選択されている。	•「プログレッシブ」を数回押して、映像出力を切り換える。
音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が聞こえるように正しく切り換える。
	• ボリュームが小さすぎる。	• 接続した機器の音量を調節する。
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。
	• 音声出力が正しく設定されていない。	• 音声出力を正しく設定する。
HDMI接続をしていて、 映像が出ない。 急に映像が出なくなった。 音声が出ない。	• 本機または接続機器の信号が正しく認識されていない。	• 本機とテレビの電源を入れ直す。
	• HDMIケーブルがしっかりと接続されていない。	• HDMIケーブルをしっかりと接続する。
	• HDCPに対応していない機器と接続している。	• HDMI接続以外の方法で接続する。
	• コンテンツによっては高解像度での出力を禁止している場合がある。	• HDMI解像度の設定を変更する。
	• HDMI解像度が[1080p]になっている。(テレビが[1080p]非対応の場合、何も表示されません。)	• HDMI解像度の設定を変更する。
XDEモードが設定できない。 「XDEモード」を押しても[キー操作無効]と表示される。	• HDMI接続以外の方法で接続している。	• HDMI接続する。 ※HDMI接続できない場合、XDEモードは設定できません。
	• HDMI解像度の設定が[480p]または[720p]になっている。	• HDMI解像度を[自動]、[1080i]、[1080p]または[1080/24p]のどれかに設定する。

症状	原因	処置
AVアンプにデジタル音声出力とアナログ音声出力を同時に接続しているときに、[デジタル音声出力] を [オフ] に設定してもアナログ音声出力が得られない。	• デジタルケーブルを接続した状態で [デジタル音声出力] を [オフ] に設定している。	• [デジタル音声出力] を [オフ] にしたときは、デジタルケーブルを本機から抜く。
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。
接続しているテレビの画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。	• コピー防止機能が働いている。例えば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AVアンプなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。	• 本機とテレビを直接接続する。
再生が始まらない。	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。
	• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。
	• ディスクがななめにはいっている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。
	• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックの規制レベルを、再生できるレベルに変更する。
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、プログラム再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 本機の電源を入れ直してみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。
リモコンがきかない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向けて操作する。
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約7m以内のところで操作する。
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。
	• リモコンと受光部の間に障害物がある。	• 障害物を取り除く。

仕様

■ 本体部

動作時消費電力
12W
待機時消費電力
1W以下
電源
AC100V 50/60Hz
質量
1.50kg
外形寸法
幅430×高さ50×奥行198mm(突起部除く)
信号方式
NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー
半導体レーザー　波長650nm/780nm
使用条件
温度：5℃～35℃ 動作姿勢：水平

■ 本体端子部

映像出力
1.0V(p-p)　75Ω、同期負 ピンジャック×1系統
S映像出力
(Y)1.0V(p-p)　75Ω、同期負 (C)0.286V(p-p)　75Ω ミニDIN4ピン×1系統
コンポーネント映像出力(Y、P_B、P_R)
Y出力　1.0V(p-p)　75Ω ピンジャック×1系統 P_B、P_R出力　0.7V(p-p)　75Ω ピンジャック×各1系統
HDMI出力
HDMI™コネクタ×1
音声出力(アナログ音声出力)
2.0V(rms)、出力インピーダンス 2.2KΩ以下、ピンジャック(L, R)×1系統
音声出力(ビットストリーム／PCM)
光コネクター×1系統 同軸ピンジャック×1系統(0.5V(p-p)　75Ω)

■ 付属品

映像・音声接続コード …1本
HDMIケーブル …1本
ワイヤレスリモコン(SE-R0328) …1個
単四形乾電池（R03）…2個
取扱説明書 …1冊

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
- 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

メモ

メモ

メモ